

審判上の確認事項

審判委員長

1. 本大会は、2023年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則、および2023年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部6人制ルールの取り扱いにより実施する。
2. 試合開始前、監督およびチームキャプテンは記録用紙の内容を確認した後、サインする。その際、監督はリベロのナンバーを記入する。
3. 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。また監督およびチームキャプテンは、チーム関係者の言動について責任をもたなければならない。
4. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズや威嚇する行為等）また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代選手とタッチ（ハイタッチ）等を行わないこと。
5. 試合中、監督は自コートベンチ前フリーゾーンで立ち上がったり、歩いたりして指示を与えることができる。ただし、ラリー中はベンチの記録席に最も近い席に座っていなければならない。
6. タイムアウトの要求は、公式ハンドシグナルを明確に示して要求すること。サブスティューションについては、クイックサブスティューションシステムを採用する。
7. およそ8秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは素早くサービスゾーンに移動しボールを待つこと。
8. ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。タイムアウト、給水のためのタイムアウト、セット間および審判員が危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。
9. リベロのリプレースメントは、必ず1ラリー挟まなければならない。その際、ボールがアウトオブプレーの間に、チームベンチ前のリベロリプレースメントゾーン内で速やかに行うこと。